

power SCRAMBLE

■ 沖縄新聞にいつも情報を提供くださる盛さんが大きく報道されました。

資料提供：盛龍也

60歳・盛、大会新制覇 全日本実業団パワリフ

「節目の年にうれしい」



パワリフティンクの優勝を報告する藤田万さんと盛龍也さん（右）18日、那覇市泉崎の琉球新報社

パワリフティンクの第37回全日本実業団選手権大会93歳級マスターズの部で優勝した、沖縄刑務所矯正処遇官の盛龍也とパワリフティンク協会の藤田万協会事務局長は18日、那覇市の琉球新報社を訪れ、成績の報告をした。大会新の制覇に、盛は「60歳、平成最後という節目の年、優勝できてうれしい」と誇らしげに話した。

スクワット150kg、ベンチプレス77.5kg、デッドリフト115kg、トータル3882.5kgの成績を残し、スクワットとデッドリフト、トータルで大会記録を樹立した。

盛は33歳でウエイトリフティングを始め、今大会で全国大会12度の優勝となった。大きけがや病気に幾たびもみまわれ、平たんな道ではなかった。49

歳で首の手術をした時引退が頭をよぎり、競技指導員の資格を取った。しかし、リハビリのつもりで練習しているところと気持ちとが沸き「50代でもやれる」と選手生活に戻った。20歳で首の手術をした時引退が頭をよぎり、競技指導員の資格を取った。しかし、リハビリのつもりで練習しているところと気持ちとが沸き「50代でもやれる」と選手生活に戻った。20

17年は病気で生死の淵をさまよったが、手術後は妻の支えもあって復帰し、九州大会で優勝を飾った。盛にとってパワリフティンクは「生活の一部。週3で練習に通い、またまた納得

盛、3種目大会新V

パワリフティンク 全日本実業団

パワリフティンクの第37回全日本実業団選手権大会14日、栃木県の日産自動車板本場体育館で行われ、男マスターズ93歳級の盛（もり）龍也がスクワット150kg、ベンチプレス77.5kg、デッドリフト115kgの大会新、トータル3882.5kgの大会新をマークし、優勝した盛龍也＝沖縄タイムス社

スクワット、デッドリフト、トータルで大会新をマークし、優勝した盛龍也＝沖縄タイムス社

リフト150kgの大会新のトータル3882.5kgの大会新で頂点に立った。従来の記録と比べ、スクワットで45kg、デッドリフトで30kg、トータルで57.5kgをそれぞれ更新した。同大会5連覇したが、昨年は大柄を患って欠場した。入院とリハビリを終え、今年2月から本格的に練習を再開。「出場するからには優勝」と高い目標を掲げて臨み、無心でプレーして9回の試技を全て成功させた。「60歳を迎えた節目の大会で優勝でき、大会新のおまけまでついてきた。若い頃に練習してきた金のたまもの、60代でも連覇を続けたい」と意気込んだ。

同協会の藤田万事務局長は「盛さんは頑張りすぎるので、無理をせずに競技を続けてほしい」と書き、年齢を鍛えるには最適な競技といい、「盛さんの頑張りを見て、若い世代も練習してほしい」と期待した。

power

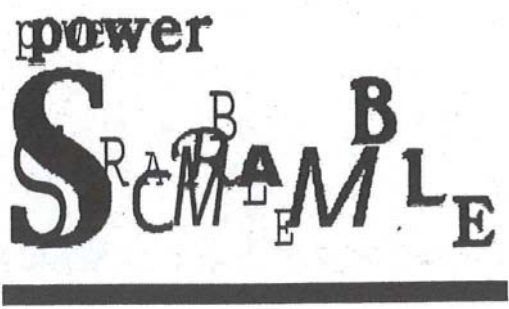
S ^R ^A ^B ^B ^E
C M L E



power

S ^RA ^BA ^BM ^LE
M L E





■ **IPC公認国内審判員**
講習会並びに試験実施の
ご案内

power

S ^R ^A ^B ^B ^L ^E
C M L M L E

2009年アジア選手権、白の7イシャツ中央が上野浩幸氏

power

S ^R ^B ^B
C M L M L E
E



power

S ^R ^A ^B ^B ^L ^E
C M L E

power

S ^R ^B ^B
C M L M L E
SCRAMBLE
